学校番号	416

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)応用数学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅱ　Standard（東京書籍）						
副教材等	Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各単元において，基礎的な内容を中心に扱いながら，生徒の理解度に応じた授業を行う。また，内容に応じて，実験的・実践的な授業や，独自教材での授業も積極的に取り入れる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
いろいろな式，三角関数，図形と方程式，及び指数・対数の考えについて理解し，基礎的な知識の習得と技能を身につける。
【思考力，判断力，表現力等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力，人間性等】
問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	式の性質，座標平面上の図形，関数について要素間の関係に着目し性質を論理的に考察し事象を的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第3章　三角関数	・一般角 ・弧度法 ・三角関数 ・三角関数のグラフ ・三角関数を含む方程式, 不等式	a：一般角を表す動径を図示したり，動径の表す角を$\alpha+360^\circ\times n$と表したりすることができる。 弧度法で表された角の三角関数の値を，三角関数の定義によって求めることができる。 b：弧の長さで角を測る方法である弧度法を考察することができる。 三角比の定義を，三角関数の定義に一般化して考察することができる。 c：単位円を利用して，三角関数の性質を調べようとする。 周期関数に興味をもち，三角関数のグラフの特徴を考察しようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート
2学期	第4章　指数関数と対数関数	・指数法則 ・指数関数とそのグラフ	a：指数が整数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を用いた計算をすることができる。 b：指数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 c：累乗根の性質に興味を示し，具体的に証明しようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート
		・対数の性質 ・対数関数とそのグラフ ・常用対数	a：対数の定義を理解し，対数の値を求めることができる。 b：指数法則と対数の定義から，対数の性質を考察することができる。 c：指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート

3学期	第2章　図形と方程式	・円の方程式 ・円と直線 ・軌跡 ・不等式の表す領域	a：与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 b：円の方程式がx，yの2次方程式で表されることを理解している。 平面上の点の軌跡を，座標平面を利用して考察することができる。 c：円と直線の位置関係を，2次方程式の判別式や，円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度